



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月31日

上場会社名 大正製薬株式会社

（コード番号：4535東証第一部）

（URL <http://www.taisho.co.jp/>）

東京都

問合せ先 代表者役職 氏名 代表取締役社長 上原 明

責任者役職 氏名 広報室長 船橋 誠

T E L (03) 3985 - 1111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。
 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有
 （内容） 連結（新規） なし（除外） 1社 持分法（新規） 1社（除外） 1社

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	184,909	(9.4)	22,081	(38.8)	24,717	(34.2)
18年3月期第3四半期	204,005	(2.6)	36,089	(14.4)	37,565	(17.5)
(参考)18年3月期	271,407	(2.9)	46,395	(15.2)	49,748	(14.3)

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円 銭		円 銭	
19年3月期第3四半期	17,182	(23.1)	55.97		-	
18年3月期第3四半期	22,350	(16.6)	72.51		-	
(参考)18年3月期	35,884	(1.1)	116.18		-	

（注）売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報]

当第3四半期の売上高につきましては、1,849億9百万円余（前年同四半期比 190億9千5百万円余、9.4%減 - 以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）、10～12月3ヶ月間の売上高は629億3千8百万円余（67億4千5百万円余、9.7%減）となりました。

一般用医薬品市場全体は引き続き横ばいの状態が続きました。当社は店頭消化中心の営業活動の徹底と、食系を中心とした流通在庫適正化、取引正常化へ向けての諸施策に重点的に取り組みましたが、想定以上に時間を要し、また異常な暖冬の影響などもあって、セルフメディケーション事業の売上高は前年比大幅なマイナスとなりました。

医薬事業におきましては、薬価引き下げの影響などにより、厳しい環境下での事業展開となりましたが、当社の医療用医薬品売上高につきましては、ほぼ計画通りの進展となりました。

事業部門別の売上高は次の通りであります。

セルフメディケーション事業	1,154億円余	(154億円余、 11.8%減)
内訳		
一般用医薬品等	1,067億円余	(162億円余、 13.2%減)
特定保健用食品等	64 "	(+ 4 " 、 8.2%増)
その他	22 "	(+ 3 " 、 19.2%増)
医薬事業	694億円余	(36億円余、 5.0%減)
内訳		
医療用医薬品	602億円余	(15億円余、 2.6%減)
その他	83 "	(3 " 、 4.1%減)
工業所有権等使用料収益	9 "	(17 " 、 64.1%減)

事業部門別の売り上げ状況は次の通りです。

セルフメディケーション事業の当第3四半期売上高は、1,154億円余（ 154億円余、11.8%減）となりました。

ドリンク剤「リポビタンシリーズ」は、新製品「リポビタンDマクシオ」、「リポビタン11NEW」などが貢献しましたが、主力の「リポビタンD」は、下期に入り食系を中心に本格的な在庫調整及び取引条件の見直し、正常化を進めた結果、売り上げは前年を大きく割り込み、シリーズ全体で595億円余（16.9%減）となりました。また、風邪薬「パブロンシリーズ」については、上期は夏風邪の流行から比較的堅調に推移いたしましたが、下期は暖冬の影響から風邪の本格的な流行もみられず、一転して164億円余（10.0%減）となりました。壮年性脱毛症における発毛剤「リアップシリーズ」は、引き続き新規ユーザーの取り込みに注力しているものの、64億円余（25.2%減）となりました。その他のブランドでは、便秘薬「コーラックシリーズ」は「コーラック」などが寄与、医薬部外品のど飴を中心とした「ヴィックスシリーズ」は「ヴィックス メディケイテッド ドロップ」の新製品のウメ風味が貢献し、堅調に推移しました。

特定保健用食品等の「リビタシリーズ」は、メタボリックシンドローム対応製品を中心に健闘しましたが、厳しい競争のなか、16億円余（1.6%増）となりました。

医薬事業の当第3四半期売上高は、694億円余（ 36億円余、5.0%減）とほぼ計画通りの進捗となりました。

国内の医療用医薬品事業は、主力の経口マクロライド系抗菌薬「クラリス」が、後発品販売の影響があったものの、小児用ドライシロップ製剤改良品の寄与に加えて、積極的な販促強化策が奏効し、198億円余（0.7%増）となりました。末梢循環改善剤「パルクス」、注射用ペニシリン系抗菌薬「ペントシリン」、経口ニューキノロン系抗菌薬「オゼックス」、注射用ニューキノロン系抗菌薬「パシル」などその他主力品は、薬価改定の影響を受けたものの、計画通りに推移しております。その他の品目では、注射用抗菌薬「タゾシン」が堅調に推移しました。

一方、工業所有権等使用料収益は、米国アボット社などからのロイヤリティー収入で9億円余（17億円余、64.1%減）となりました。

また、コスト面では、広告宣伝費などを中心に見直しを進めましたが、営業利益は220億8千1百万円余、経常利益は247億1千7百万円余、四半期純利益は171億8千2百万円余にとどまりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	642,651	560,669	86.9	1,846.59
18年3月期第3四半期	636,884	549,774	86.3	1,783.70
(参考)18年3月期	664,431	567,364	85.4	1,840.63

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	11,574	23,546	21,127	59,280
18年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)18年3月期	38,487	17,364	6,888	92,195

連結キャッシュ・フローの状況は18年3月期第3四半期の実績を開示していませんので表示しておりません。

[財政状態（連結）の進捗状況に関する定性的情報]

(1)財政状態の変動状況

当四半期末の総資産は、6,426億円余（+57億円余、0.9%増）となりました。流動資産は2,430億円余（+19億円余、0.8%増）、固定資産は3,996億円余（+37億円余、1.0%増）となりました。

流動資産増加の主な要因は、現金及び預金の増加などによるものです。

固定資産増加の主な要因は、投資有価証券の増加などによるものです。

当四半期末の負債合計は、819億円余（28億円余、3.4%減）となりました。流動負債は511億円余（15億円余、2.9%減）、固定負債は307億円余（13億円余、4.1%減）となりました。

流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少などによるものです。

固定負債減少の主な要因は、退職給付引当金の減少などによるものです。

(2)キャッシュ・フローの状況

当四半期末における現金及び現金同等物は592億円余で、前連結会計年度末に比べ329億円余減少致しました。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは115億円余となりました。これは税金等調整前当期純利益が288億円余、減価償却費が90億円余であったものの、法人税等の支払額が124億円余あったことなどによるものです。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは235億円余となりましたが、これは投資有価証券の取得に256億円余、有形固定資産の取得に96億円余支出したことなどによるものです。

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは211億円余となりました。これは自己株式の取得に119億円余、配当金の支払に92億円余支出したことなどによるものです。

3. 19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	240,500	25,500	17,500

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 57円84銭

[業績予想に関する定性的情報等]

第3四半期までの売り上げの進捗状況に加え、第4四半期(1月～3月)の見通しを勘案し、業績予想を修正いたしました。

<セルフメディケーション事業>

第4四半期(1月～3月)は、暖冬と「リポビタミンD」流通問題への取り組みを徹底することによる影響を見込み、売り上げの見通しを引き下げました。ドリンク剤につきましては、食系を中心とした流通問題に対策を講じてまいりましたが、第4四半期も店頭消化に重点を置いた販促活動を強化するとともに、取引条件正常化の実現を目指します。加えて、来年度の薬事法リスク分類(1～3類)実施に伴う商品表示変更等も考慮して、店頭・流通在庫を出来るだけ低水準に維持する方針です。「パブロンシリーズ」は暖冬で風邪の流行が低水準であり、また花粉の飛散量が少ないと予測されていることから、売上予想を引き下げました。

<医薬事業>

医薬事業については、インフルエンザ、風邪の流行が低水準にとどまっていますが、大正富山医薬品の売上予想については修正いたしません。

また、利益につきましても、売上減少に伴い、通期予想を引き下げます。広告宣伝費などを中心に見直しを進めましたが、研究開発費がほぼ中間決算発表時の計画通り推移する見込みであり、大正富山医薬品においてもクラリスの後発品対策等により販売促進費が従来計画を上回る見通しとなり、売上減少をカバーするには至らない見込みです。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

(要約) 四半期連結財務諸表等

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成18年12月31日現在)		前第3四半期 連結会計期間末 (平成17年12月31日現在)		増 減 (印は減)		(参考) 前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産								
1 現金及び預金	121,596		109,402		12,194	11.1	155,205	
2 受取手形及び売掛金	79,297		89,984		10,687	11.9	76,718	
3 有価証券	3,179		5,393		2,214	41.0	3,492	
4 たな卸資産	24,038		24,743		704	2.8	23,612	
5 繰延税金資産	8,229		8,068		160	2.0	8,160	
6 その他	7,118		4,057		3,060	75.4	4,528	
計	243,459		241,649		1,809	0.7	271,717	
7 貸倒引当金	452		617		164	26.7	561	
流動資産合計	243,007	37.8	241,032	37.8	1,974	0.8	271,156	40.8
固定資産								
(1) 有形固定資産								
1 建物及び構築物	48,344		50,854		2,509	4.9	50,638	
2 機械装置及び運搬具	9,354		9,930		576	5.8	10,095	
3 土地	27,389		27,231		157	0.6	27,233	
4 建設仮勘定	8,701		4,303		4,397	102.2	5,853	
5 その他	4,798		5,327		528	9.9	5,221	
有形固定資産合計	98,588	(15.3)	97,647	(15.3)	941	1.0	99,041	(14.9)
(2) 無形固定資産								
1 のれん			13		13	-	9	
2 営業権	153		135		18	13.8	162	
3 商標権	4,791		7,131		2,339	32.8	6,546	
4 ソフトウェア	3,041		3,727		685	18.4	3,842	
5 その他	194		196		1	0.9	198	
無形固定資産合計	8,181	(1.3)	11,203	(1.8)	3,022	27.0	10,758	(1.6)
(3) 投資その他の資産								
1 投資有価証券	286,632		280,018		6,613	2.4	276,614	
2 長期前払費用	1,977		2,899		922	31.8	2,615	
3 繰延税金資産	819		682		137	20.1	723	
4 その他	3,678		3,638		39	1.1	3,759	
計	293,107		287,239		5,867	2.0	283,713	
5 貸倒引当金	233		239		6	2.5	239	
投資その他の資産合計	292,874	(45.6)	287,000	(45.1)	5,873	2.0	283,474	(42.7)
固定資産合計	399,644	62.2	395,851	62.2	3,792	1.0	393,274	59.2
資産合計	642,651	100.0	636,884	100.0	5,766	0.9	664,431	100.0

(単位：百万円)

期 別 科 目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成18年12月31日現在)		前第3四半期 連結会計期間末 (平成17年12月31日現在)		増 減 (印は減)		(参考) 前連結会計年度 (平成18年3月31日現在)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)		%		%		%		%
流動負債								
1 支払手形及び買掛金	22,213		24,540		2,327	9.5	21,798	
2 短期借入金	285		285		-	-	260	
3 未払金	10,732		11,883		1,151	9.7	14,062	
4 未払法人税等	6,790		4,321		2,468	57.1	7,237	
5 未払費用	6,879		7,016		137	2.0	7,875	
6 返品調整引当金	970		1,016		45	4.5	893	
7 賞与引当金	1,398		1,394		3	0.3	3,917	
8 役員賞与引当金	54				54	-		
9 その他	1,861		2,261		400	17.7	1,680	
流動負債合計	51,183	8.0	52,718	8.3	1,535	2.9	57,724	8.7
固定負債								
1 退職給付引当金	17,012		19,219		2,207	11.5	18,763	
2 役員退職慰労引当金	1,621		1,564		56	3.6	1,589	
3 繰延税金負債	6,088		2,959		3,128	105.7	9,473	
4 その他	6,075		8,368		2,293	27.4	7,338	
固定負債合計	30,798	4.8	32,112	5.0	1,314	4.1	37,165	5.6
負債合計	81,981	12.8	84,831	13.3	2,850	3.4	94,890	14.3
(少数株主持分)								
少数株主持分		-	2,278	0.4		-	2,176	0.3
(資本の部)								
資本金		-	29,804	4.7		-	29,804	4.5
資本剰余金		-	14,935	2.3		-	14,935	2.3
利益剰余金		-	501,473	78.7		-	515,006	77.5
その他有価証券評価差額金		-	30,696	4.8		-	34,065	5.1
為替換算調整勘定		-	3,919	0.6		-	3,193	0.5
自己株式		-	23,214	3.6		-	23,253	3.5
資本合計		-	549,774	86.3		-	567,364	85.4
負債、少数株主持分及び資本合計		-	636,884	100.0		-	664,431	100.0
(純資産の部)								
株主資本								
1 資本金	29,804	4.6		-		-		-
2 資本剰余金	14,935	2.3		-		-		-
3 利益剰余金	522,928	81.4		-		-		-
4 自己株式	35,186	5.4		-		-		-
株主資本合計	532,481	82.9		-		-		-
評価・換算差額等								
1 その他有価証券評価差額金	28,813	4.4		-		-		-
2 繰延ヘッジ損益	15	0.0		-		-		-
3 為替換算調整勘定	2,588	0.4		-		-		-
評価・換算差額等合計	26,209	4.0		-		-		-
少数株主持分	1,978	0.3		-		-		-
純資産合計	560,669	87.2		-		-		-
負債純資産合計	642,651	100.0		-		-		-

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		前第3四半期 連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		増 減 (印は減)		(参考) 前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	増減率	金額	百分比
売 上 高	1 8 4 , 9 0 9	100.0	2 0 4 , 0 0 5	100.0	1 9 , 0 9 5	9.4	2 7 1 , 4 0 7	100.0
売 上 原 価	6 1 , 7 5 5	33.4	6 3 , 8 1 5	31.3	2 , 0 5 9	3.2	8 6 , 4 0 8	31.8
売 上 総 利 益	1 2 3 , 1 5 4	66.6	1 4 0 , 1 8 9	68.7	1 7 , 0 3 5	12.2	1 8 4 , 9 9 9	68.2
返品調整引当金戻入額	8 8 2		6 1 5		2 6 6	43.3	6 1 5	
返品調整引当金繰入額	9 5 8		1 , 0 1 6		5 7	5.7	8 9 3	
差引売上総利益	1 2 3 , 0 7 7	66.6	1 3 9 , 7 8 9	68.5	1 6 , 7 1 1	12.0	1 8 4 , 7 2 0	68.1
販売費及び一般管理費	1 0 0 , 9 9 6	54.7	1 0 3 , 7 0 0	50.8	2 , 7 0 4	2.6	1 3 8 , 3 2 5	51.0
営 業 利 益	2 2 , 0 8 1	11.9	3 6 , 0 8 9	17.7	1 4 , 0 0 7	38.8	4 6 , 3 9 5	17.1
営 業 外 収 益								
1 受 取 利 息	3 , 0 8 6		2 , 8 4 8		2 3 8	8.4	3 , 8 3 3	
2 受 取 配 当 金	7 2 8		5 4 2		1 8 6	34.4	5 4 8	
3 不 動 産 賃 貸 料	7 8		8 1		2	3.4	1 0 8	
4 そ の 他	4 1 4		5 4 4		1 3 0	23.9	6 8 8	
営 業 外 収 益 合 計	4 , 3 0 8	2.4	4 , 0 1 6	2.0	2 9 1	7.3	5 , 1 7 8	1.9
営 業 外 費 用								
1 支 払 利 息	3		3		0	15.8	4	
2 持分法による投資損失	1 , 2 6 3		1 , 5 2 7		2 6 4	17.3	6 3 7	
3 そ の 他	4 0 5		1 , 0 0 9		6 0 3	59.8	1 , 1 8 2	
営 業 外 費 用 合 計	1 , 6 7 2	0.9	2 , 5 4 0	1.3	8 6 7	34.2	1 , 8 2 5	0.7
経 常 利 益	2 4 , 7 1 7	13.4	3 7 , 5 6 5	18.4	1 2 , 8 4 8	34.2	4 9 , 7 4 8	18.3
特 別 利 益								
1 投資有価証券売却益						-	8 9	
2 固定資産売却益	4 , 1 5 6		3		4 , 1 5 2	-	3	
3 確定拠出年金制度移行差益			7 5 9		7 5 9	-	7 5 9	
4 関係会社株式売却益						-	8 , 4 9 6	
5 貸倒引当金戻入益	9 6				9 6	-		
6 そ の 他	0					-		
特 別 利 益 合 計	4 , 2 5 2	2.3	7 6 2	0.4	3 , 4 9 0	457.7	9 , 3 4 8	3.5
特 別 損 失								
1 投資有価証券評価損	3		0		2	216.7	0	
2 固定資産処分損	1 2 7		5 2 1		3 9 3	75.5	5 7 4	
3 投資有価証券売却損						-	1	
4 減 損 損 失			2 0 8		2 0 8	-	2 0 8	
特 別 損 失 合 計	1 3 0	0.1	7 3 0	0.4	5 9 9	82.1	7 8 5	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	2 8 , 8 3 9	15.6	3 7 , 5 9 7	18.4	8 , 7 5 8	23.3	5 8 , 3 1 1	21.5
法人税、住民税及び事業税	1 1 , 9 7 1	6.5	1 5 , 4 2 6	7.5	3 , 4 5 4	22.4	1 8 , 6 2 5	6.9
法 人 税 等 調 整 額	1 1 0	0.1	2 0 7	0.1	9 6	46.5	3 , 8 9 2	1.4
少 数 株 主 損 益	2 0 4	0.1	2 7	0.0	2 3 2	839.8	8 9	0.0
四半期(当期)純利益	1 7 , 1 8 2	9.3	2 2 , 3 5 0	11.0	5 , 1 6 7	23.1	3 5 , 8 8 4	13.2

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期(自平成18年4月1日至平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成18年3月31日残高	29,804	14,935	515,006	23,253	536,493
当第3四半期の変動額					
自己株式の取得				11,932	11,932
利益処分による利益の配当			9,246		9,246
利益処分による役員賞与			73		73
四半期純利益			17,182		17,182
連結範囲の変動			58		58
株主資本以外の項目の当第3四半期の変動額(純額)					
当第3四半期の変動額合計	-	-	7,921	11,932	4,011
平成18年12月31日残高	29,804	14,935	522,928	35,186	532,481

	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	34,065	-	3,193	30,871	2,176	569,541
当第3四半期の変動額						
自己株式の取得						11,932
利益処分による利益の配当						9,246
利益処分による役員賞与						73
四半期純利益						17,182
連結範囲の変動						58
株主資本以外の項目の当第3四半期の変動額(純額)	5,251	15	604	4,662	197	4,860
当第3四半期の変動額合計	5,251	15	604	4,662	197	8,871
平成18年12月31日残高	28,813	15	2,588	26,209	1,978	560,669

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	当第3四半期 連結会計期間 〔自平成18年4月1日 至平成18年12月31日〕	(参考) 前連結会計年度 〔自平成17年4月1日 至平成18年3月31日〕
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	28,839	58,311
減価償却費	9,081	12,809
受取利息及び受取配当金	3,815	4,382
固定資産売却益	4,156	3
退職給付引当金増減額(減少：)	1,752	15,744
賞与引当金の増減額(減少：)	2,519	577
売上債権の増減額(増加：)	2,545	2,289
たな卸資産の増減額(増加：)	420	658
仕入債務の増減額(減少：)	397	1,385
その他	2,723	467
小計	20,385	55,053
利息及び配当金の受取額	3,634	4,316
利息の支払額	3	4
法人税等の支払額	12,441	20,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,574	38,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	9,671	12,121
有形固定資産の売却による収入	4,903	693
投資有価証券の取得による支出	25,680	61,698
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,000	38,009
その他の資産増減額(増加：)	2,902	17,752
投資活動によるキャッシュ・フロー	23,546	17,364
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	11,932	200
配当金の支払	9,219	7,687
その他財務活動フロー	24	999
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,127	6,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	184	403
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	32,914	14,638
現金及び現金同等物期首残高	92,195	77,557
現金及び現金同等物期末残高	59,280	92,195

セグメント情報

- 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期(自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	セルフメディケーション 事業	医薬事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	115,415	69,494	184,909		184,909
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	115,415	69,494	184,909		184,909
営業費用	100,356	62,471	162,828		162,828
営業利益	15,058	7,022	22,081		22,081

前第3四半期(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)

(単位:百万円)

	セルフメディケーション 事業	医薬事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	130,834	73,170	204,005		204,005
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	130,834	73,170	204,005		204,005
営業費用	104,960	62,956	167,916		167,916
営業利益	25,874	10,214	36,089		36,089

(参考) 前連結会計年度(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

(単位:百万円)

	セルフメディケーション 事業	医薬事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	174,831	96,576	271,407		271,407
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高					
計	174,831	96,576	271,407		271,407
営業費用	141,229	83,782	225,012		225,012
営業利益	33,602	12,793	46,395		46,395